

ともえちょう 巴町



木戸天水先生書の「巴」を中央にデザインし、巴町内のカキタ、神田、細畑の3地区が協力し、より良い町にする想いを込めて星で表現。

巴町自治区データ

(H27年1月1日現在/市HPより)

世帯数：362世帯
人口：1,099人
平均年齢：42.57歳
面積：13.1ha
小学校区：岩倉小学校
集会所：巴町区民会館（平成19年度建築）



巴町の概要

巴町自治区は、東海環状自動車道豊田松平インターから南へ約1kmの小高い所。山と巴川に囲まれ、団地としては自然豊かな環境。

自治区の住民はほぼ全戸が、地元以外の出身者がマイホームを新築して入居した人たちで、出身地は全国に散らばっており、バラエティに富んだ集団で、自動車関連企業の働き手が多い。

自治区の歴史

平成2年に『巴町自治区』として発足。

巴町自治区は、松平団地の造成が完了した昭和63年から入居が始まり、巴町自治区が発足するまで地元の岩倉東自治区の中に入っていた。

自治区内には『カキタ』『神田』『細畑』の3地区があり、発足当初は3地区対抗の運動会が松平団地公園で開催されていた。

- 巴町に信号設置 平成17年
- 巴町区民会館 平成19年度新築



巴町の名所

- 松平団地公園のハナノキの紅葉
山の紅葉より一足早く色付き、公園横を通過する他地区の方々にも大変喜ばれている。



- 松平団地公園の時計台&記念樹(平成7年完成)
- 区民会館のイルミネーション

建物&フェンス&樹木にイルミネーションを飾り付け、子ども会のクリスマス会の後、組長会メンバー一同でカウントダウンで点灯式を実施。12月頭から12月末まで6時~9時まで自動点灯。



◆ 巴町自治区民憲章 ◆

わたしたちは、自然の恵み豊かなこの町を『安全・安心』で住みやすく、活力のある自治区にすると共に『巴町のふるさとづくり』に努めます。

- 1、自然を愛し、環境を整え、美しく住み良い町をつくりましょう。
- 2、きまりを守り、良い風習をつくりましょう。
- 3、互いに手を取り合い、助け合いの精神を養いましょう。
- 4、健康で楽しく働き、明るい家庭をつくりましょう。

活動組織

- 自治区役員 7名、組長 20名
- 子ども会
- JC会
- ふれあい会
- まちづくり委員会
- 自主防災会



行事・おまつり

- 5月 救命講習会
- 6月 環境美化活動
- 6月 高齢者食事会
- 8月 ともえ夏祭り
- 9月 敬老会
- 9月 環境美化活動
- 10月 高齢者食事会
- 11月 防災訓練
- 12月 仏ミネ・ソノ点灯
- 3月 総会
- 年間 組内親睦会



巴町の課題

同世代が同じ時期に一齐に入居した団地開発の弊害が生じている(入居開始後25年以上経過し、子どもの数が急激に減少、逆に今後は高齢化が急速に進む)。団地特有のお互いの面識が薄いという点に配慮した早めの企画・対応策が必要である。

